

第1問

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、5. については設問に係る連結修正仕訳を示しなさい。勘定科目は、設問ごとに最も適当と思われるものを選び、答案用紙の（ ）の中に記号で解答すること。

1. その他有価証券として保有している浪速建設株式会社株式からの利益剰余金を財源とする配当金 ¥640,000 が普通預金口座に振り込まれた。この配当金の振込額は、源泉所得税20%控除後の金額である。

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------------|
| ア. 当座預金 | イ. 普通預金 | ウ. 仮払法人税等 | エ. その他有価証券 |
| オ. 未払法人税等 | カ. 受取配当金 | キ. 租税公課 | ク. 法人税、住民税及び事業税 |

2. 株式会社駿河商事を吸収合併し、同社の株主に当社の株式10,000株（合併時点での時価は1株につき¥7,000）を交付した。合併にあたり1株につき¥3,500は資本金、¥1,500は資本準備金、残りはその他資本剰余金とすることとされた。駿河商事の資産および負債の合併時の時価は次のとおりである。

現金 ¥18,000,000、売掛金 ¥29,000,000、備品 ¥33,000,000、買掛金 ¥17,000,000

- | | | | |
|--------|--------|----------|-------------|
| ア. 現金 | イ. 売掛金 | ウ. 備品 | エ. のれん |
| オ. 買掛金 | カ. 資本金 | キ. 資本準備金 | ク. その他資本剰余金 |

3. 期首にトラック（取得原価 ¥15,000,000、減価償却累計額 ¥13,500,000）を新しいトラックに買い替えた。新しいトラックの販売価格は ¥16,000,000 であるが、オプションで付けた物品や税金および納車費用などの諸経費 ¥700,000 が生じ、古いトラックの下取り価額の ¥2,000,000 との差額について、約束手形を振り出して支払った。なお、減価償却に関する記帳は間接法を採用している。

- | | | | |
|----------|-----------------|---------|------------|
| ア. 車両運搬具 | イ. 備品 | ウ. 支払手形 | エ. 営業外支払手形 |
| オ. 未払金 | カ. 車両運搬具減価償却累計額 | キ. 租税公課 | ク. 固定資産売却益 |

4. 得意先三河産業株式会社から生じた電子記録債権残高 ¥8,000,000 のうち ¥5,000,000 を仕入先遠江商会に対する買掛金の支払いのため取引銀行に債権の譲渡記録を行った。また、残額を割引に付すべく取引銀行に債権の譲渡記録を行い、取引銀行から1%の割引料を差し引かれた手取額が当座預金口座に入金された。

- | | | | |
|-----------|--------------|-----------|--------|
| ア. 当座預金 | イ. 売掛金 | ウ. 電子記録債権 | エ. 買掛金 |
| オ. 電子記録債務 | カ. 電子記録債権売却損 | キ. 支払利息 | ク. 売上 |

5. 2年前にS社の発行済株式総数の80%の株式を取得し、S社を子会社としている。支配獲得時にのれんが ¥4,000,000 生じ、以後20年間にわたり每期均等額を償却している。決算にあたりS社より当期純利益 ¥6,000,000 を計上したとの連絡があった。連結財務諸表を作成する手順の一つとして、(1) のれんの当期分の償却と (2) 当期純利益を按分する処理を行う。

- | | | | |
|-------------|----------|--------------------|--------------------|
| ア. のれん | イ. 子会社株式 | ウ. 非支配株主持分 | エ. 資本金 |
| オ. 負ののれん発生益 | カ. のれん償却 | キ. 非支配株主に帰属する当期純利益 | ク. 親会社株主に帰属する当期純利益 |